

取手市LED防犯灯の賃貸借(リース)



所在地：茨城県取手市
設置区域：取手市内全域
施主：取手市
リース会社：IBJL東芝リース㈱
リース期間：平成24年4月～平成34年3月まで

S179

「市民が安全に安心して暮らせるまちづくり」に取り組む茨城県取手市。
市内全域にわたり9700台設置されていたFL20W防犯灯のすべてをLED防犯灯にリニューアルし、
生活の安全性を向上させるとともに、防犯灯における消費電力の削減を図っています。

「取手に住みたい、住んでよかった」と思われる都市基盤整備を進める取手市

水戸街道の宿場町として発展してきた歴史ある取手市は、現在では、米どころ、穀倉地帯としての緑豊かな田園風景を残しながら、都心へ40km、鉄道で40分余りという地理条件から、首都圏のベッドタウンとしての顔も見せています。

平成17年には藤代町と合併し、人口約11万人、総面積は約70km²の新生取手市となりました。市域全体の夜における生活路の交通安全と犯罪被害を予防するために設けられている防犯灯は、特に蛍光灯FL20W使用の防犯灯が、著しく老朽化。このため、安全性の向上化はもちろん、電気料金の軽減化や、保守メンテナンス費の軽減化も配慮し、FL20W防犯灯9,700台を消費電力が少なく、長寿命のLED防犯灯に10年リースで更新されました。

新料金区分「10Wまで」対応のLED防犯灯を採用し、電灯料金を大幅に低減

更新されたLED防犯灯は、既存のFL20W防犯灯と同等以上の明るさを消費電力8.9Wで実現し、かつ長寿命(60,000時間)のLED防犯灯600シリーズ(器具光束680lm)。

LED防犯灯8.9Wは、「公衆街路灯A」の区分に適用され、FL20W防犯灯と比較して電気料金区分が2ランクダウン。電気料金月100円/灯(東京電力の場合)削減され、更新した9,700台分では、年間約1,164万円の電気料金削減を可能にしています。

LED防犯灯は既存の電柱にGL4.5mの高さに共架式を中心に設置、照度センサーを内蔵し、従来の自動点滅器と同様に周辺の明るさを検知してON/OFF制御を行いながら、照度センサー寿命約15年により、点滅器交換の手間が省け、さらなる省メンテナンスをもたらしています

これにより、省エネ・省メンテナンスはもちろん、約2.5m～3.0m幅の歩道の端までしっかり照射。白線も明るく見え夜の歩行時の生活路としての安全性の確保、また、通学路としての犯罪抑止の向上にも大きな効果を発揮しています。



住宅地周辺道路の電柱に設置されたFL20W防犯灯から更新されたLED防犯灯



田んぼ周辺道路の共架式LED防犯灯



独立照明ポールに設置されたLED防犯灯



電柱に設置された共架式LED防犯灯



独立照明ポールのLED防犯灯

主な照明器具一覧

| 設置場所 | 器具名 | 形名 | 台数 | 備考 |
|------|--------------|------------------|-------|---------------|
| 屋外 | LED防犯灯(10VA) | LEDK-78925WP-LS1 | 9,700 | LED 消費電力:8.9W |